# まるごとだより

# にぎわいある農村をみんなで守り育てよう



### Ħ 次

☆草津「まるごと」紹介しま す。

(草津市)

☆わたしたちも がんばっています。パート1 「大比良まるごと保全の会」 (大津市)

☆わたしたちも がんばっています。パート2 「おさだ蛍の里」 (近江八幡市)

発行 (2008.10)

### 滋賀県世代をつなぐ農村 まるごと保全地域協議会

7521 - 1224

東近江市林町601番地 水土里ネット滋賀内

電話 0748-42-4806 FAX 0748 - 42 - 5574

Email: kyougikai@shiga-

nouson-marugoto.com

# 「環境こだわり米」は県内の水稲作付面積の約3割に あたる約1万ヘクタールで栽培されています。











食の安全・安心志向の高まりなどを受け、「環境こだわり農産物」を栽培する 農家の方々が増えてきました。

環境こだわり農産物の9割は「環境こだわり米」として栽培される〈近江米〉で す。今年度は県内水稲作付面積約33,300ヘクタールの内約10,000ヘクタールで安心 安全な環境こだわり米が栽培されています。

多くの方々に食べていただけることを願っています。

# ∅ お知らせ

◆フォーラム を開催します。

※日時:11月23日(日·祝) 13:00~

※場所:野洲文化ホール

「人・生きものにぎわう農村 フォーラム"2008"」を開催 します。

本対策は、子どもたちから高齢者まで幅広い人々によって取り組まれる地域ぐるみの活動を通して、農村地域が元気になることを目指しています。

農村の女性の活躍等の紹介 や元気な村づくりのヒントとな る講演をはじめ、平成19年 度の取り組みの表彰や事例 発表などを予定しています。 みなさんお誘い合わせのうえ ご参加ください。





(2007 フォーラムの状況)

◆共同活動にかかる様式集、手引きを改訂しました。

昨年度の事務の簡素化により、様式が一部変更になりましたので、「関係様式集」「活動記録等の手引き」の改訂版を作成し各活動組織へ配布しました。ホームページにも掲載しています。ご活用ください。

また、営農活動にかかる様式集、手引きも配布しますのでご活用ください。

# 草津「まるごと」紹介します。

琵琶湖のほとりの宿場町

# ♦草津市

草津市 農林水産課

草津市の「まるごと」は、共同活動に10組織が取り組まれており、対象農振農用地面積は265.2~クタール、環境こだわり農業には、5組織が実施面積50.2~クタールで取り組まれ、水稲、小麦、野菜といった、環境こだわり農産物が次々と産声をあげているところです。現在、市街化が進みつつある草津市ですが、まだまだ農用地も多く、農業に対する思いは強いものがあります。各組織とも、地域の方が手と手を取り合い、地元主体でこの事業に取り組んでおられます。

中でも、農村環境向上活動の推進に力を入 れておられる組織が多いのが一つの特徴で す。生き物観察会、植栽による景観形成、農 業体験などの地域交流、またそれぞれの活動 の先進地への研修など、様々な活動事例の 報告をいただいています。こういった活動は、 農家の方と非農家の方が交流するよい機会 であり、特に子どもたちにとってはよい学習の 場となっています。田んぼや川で生き物と直接 触れることで、自然というもの、命の尊さという ものを体感する。また、景観を保全すること で、癒しの空間を創造し、環境を守る大切さを 知る。さらに、普段自分たちが食べている物 が、どれほど手間ひまをかけて作られている か、どれほどありがたいものかといった感謝の 心を持つ。そして、こういった活動が、親と子 のコミュニケーションを育むきっかけとなってい ます。

草津市におきましては、各組織への支援体制を強化すべく、「まるごと情報交換会」を年に2回開催しており、全組織の方に出席いただいています。優秀な取り組み事例の紹介、意見交換、事務手続き関係の説明を行ったり、また昨年度は、市内全組織の方に取り組み事例のスピーチをしていただきました。他の組織の様々な事例が報告されるなかで、本事業も2年目を迎え、新たな活動にチャレンジされる組織もあり、「まるごと」は大きな広がりをみせようとしています。







草津市では、この活動が発端となり、農業を通じたまちづくりの推進が、草津市全域に波及していくように、力を注いでいきたいと考えています。まだまだ力不足な部分もありますが、組織の方と一緒になって成長し、良いものをつくっていきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。



【草津あおばな】

### [草津あおばな]

大化の改新の万葉時代、青色や藍色に染める のに利用され、草津の地で栽培がはじまったとい われています。

# わたしたちもがんばっています!

### ~パート1~

### 大比良まるごと保全の会(大津市) 会長 山村 久兵衞

大比良の地域は、大津市北部の比良山 系とびわ湖に挟まれた傾斜の緩やかな地域です。土地改良区の区域内の三つの集落でまるごと組織を立ち上げました。

組織を構成している団体は、自治会、財産管理会、農業組合、消防団、老人会、女性会、子供会、土地改良区で、三集落の各団体代表で実行委員会を設け年2回開催しています。

活動対象農地の面積は、96.5へクタールで、共同活動と促進費活動を実施しています。促進費活動は、5年間で用排水路の補修を行う計画です。

主は保し会習物に活態動系と生活子る生隊が



路で行っています。景観形成活動は、昨年、女性会等の参加により農道沿いに菜の花、ポピー、クローバの種を延べ850m播きましたが、ポピーなど思うように咲かない部分もあり、今後の検討課題です。

活動の中で排水路の土砂上げがありますが、総延長や作業量から考えて全体の対応は非常に困難なことが判りました。排水路は、ほとんどが道路沿いでなく、重機も入れません。このことから、特に支障のある部分を手作業で行っています。

また、年1回広報紙の発行を行っています。発行部数は、三集落の自治会組織を通じて総数500部を配布しています。

まるごと活動も2年目に入り、一般住民の方から、まるごとの話が出てくるようになったことは、一定活動が浸透してきているものと思います。地域の創意工夫を凝らした計画がもっと生かされるよう条件緩和への配慮も必要です。年間を通して、それぞれの活動を進めていくことは役員の負担が大きく思うようにいかない部分もあり、大変ですが、引き続き施設の保全と地域の環境向上の

ため今後 も努力して 参りたいと 考えてい ます。



# ∅質問コーナー ∅

### (質問)

集落の運動会や、収穫祭を 行うのですが、環境こだわり 米を栽培された農家からこ だわり米を購入し、おにぎり を作って参加者にこだわり 米の試食をしてもらい、この 対策に取り組んでいるPRを しようと思っています。こだ わり米の購入費はこの対策 の交付金を使ってもよろし いか。

### (答え)

営農活動に取り組まれている組織においては、「営農 基礎活動支援交付金」から "消費者との意見交換会"に 必要な経費として使うことが できます。

この場合、単におにぎりを配布するだけではなく、チラシで環境こだわり農業の取組をPRしたり、消費者の意向を把握するためのアンケートなどを実施するようにしてください。

# 活動や事務作業は順調に進んでいますか。

●中間確認が実施されています。

今年度のまるごと保全の活動も半分以上が終わってきた頃と思います。 各市町では、活動の状況や記録、交付金の使用状況な

谷川町では、冶動の水流で記録、文刊並の使用水流な ど中間時点での確認が始まっています。

地域でお困りの事柄や、課題、疑問点などを解決するい い機会でもあります。市町で行われる場合には積極的に 参加してくだい。



●秋の景観作物が見頃を迎えています。

「農用地を利用した景観に配慮した作物の作付け」の活動で植えられたコスモスなどが各地域できれいな花を咲かせています。農産物の即売会や模擬店、写生会などが開催され、交流の場となっているようです。

### 《まるごと一口メモ》

平成19年度の共同活動への参加人数は約47万人(延べ人数、推定)でした。 県民の3人に1人が参加されたことになります。

# きれいな花が 咲いています。



(東近江市瓜生津町)



〔コスモス畑〕

(東近江市五個荘金堂町)

### お願い

※インターネットを活用した 情報発信「にぎわい通信」を 発行しています。

研修会や、催し物情報など を掲載しております。 ご希望の方は下記アドレス までご連絡ください。

kyougikai@shiga-nousonmarugoto.com

(組織からの感想) 研修案内を早く知らせても らいありがたかった。活動 の状況も教えてほしい。

※「うちの組織ではこんな活動をしてみんなよろこんでくれた。」「うちの町でこんなユニークな取り組みをやっている。」というところがあればお知らせください。 お待ちしています。

# 編集後記

朝夕めっきり涼しくなり、だ んだんと秋になってきたよう な気がします。

食欲の秋、読書の秋です。安心・安全な滋賀県の 農産物を食し、秋の夜長を 楽しみましょう。

(H.T)

# わたしたちもがんばっています!

~パート2~

### 蛍とともに生きる豊かな自然環境を

### おさだ蛍の里(近江八幡市)

### 代表 中西嘉幸

長田町は近江八幡市の東部に位置し、戸数が100戸強の純農村です。

平成19年度よりスタートした「世代をつなぐ農村まるごと保全向上対策」についてはいち早く手を挙げ、組織名も『おさだ蛍の里』と名付け、自治会組織と営農組合組織と協力し、いろいろな事業を展開しています。

当町では20年前までは、6月上旬から中旬にかけて町内河川(旧蛇砂川)のいたるところで、蛍が乱舞し、近郊では蛍の名所として有名でした。土地改良事業とあわせて蛇砂川が新川として敷設され、町内の旧河川に自然水が流れなくなり、蛍がみられなくなりました。 幸いにも、旧河川から新河川に移行時、先人が移した蛍が徐々に増え、昨年までは30匹程度だったものが今年は百数十匹にまで回復しました。



[蛍の勉強会]

この事業での環境こだわり米の栽培や、排水路の定期的な掃除などが蛍発 生回復の一要因ではないかと考えています。

当町では旧河川への自然水の確保と環境保全を目指して毎年『蛍祭り』を開催しています。この『蛍祭り』で当事業のPRや実績報告をし、住民の意識向上に努めています。

また、守山市・蛍の森資料館山口先生の勉強会を町内の子どもたちと一緒に受け、蛍を増やすために蛍養殖池をつくり、蛍が発生しやすい樹木の植栽、カワニナを繁殖させ水路に放流するなど、試行錯誤しながら奮闘しています。

幸いに、当町は自分たちの町は自分たちの手で、という伝統があります。この対策でもみんなが、自分たちの問題として取り組み、次世代の子ども達により良い環境を残していこうとがんばっています。



[蛍養殖池の植栽]

# 滋賀県世代をつなぐ農村まるごと保全地域協議会

- ●本協議会は、活動組織への支援や、採択手続き、交付金の交付事務などを行っています。
- ●書類作成にかかる参考資料や、活動事例などの情報をホームページでお知らせしています。

滋賀県世代をつなぐ農村まるごと保全地域協議会ホームページ

http://www.shiga-nouson-marugoto.com/index.html

〈※地域の取組写真を掲載しています。みなさんからの提供をお待ちしています。〉



景観植物の植栽(近江八幡市竹町)



生きもの観察会(高月町熊野)



芝桜の管理(野洲市吉川)